

【評定基準】 A:目標を9割以上達成 B:8割以上達成 C:6割以上達成 D:6割未満の達成

4:そう思う 3:どちらかと言えばそう思う 2:どちらかと言えば思わない 1:思わない ◎肯定率8割以上、○6割～8割、△6割以下

項目	重点目標		質問項目	評定	学校による考察・改善方策	評価資料	評価	アンケート結果(%)						R6.12月 肯定率
			○生徒、◎保護者、□教職員、◇地域有識者					4	3	2	1	肯定率	全体肯定率	
1 教育課程・ 学習指導	・「分かる・ できたを実感する授業」 「考える授業」 「伸びる授業」の実現のためのICTを活用した個別最適な学習の充実等による授業改善	①	○授業では、発表、実験、制作等自分の考えをまとめたり、表現したりする活動や体験活動の時間がよくある。 ◎双海中は、授業で自分の考えをまとめたり、表現したりする活動や様々な体験活動をよく実施している。 □本校は、「表現力」「読解力」の育成のため、各教科や総合的な学習等において、適切な言語活動や体験的活動を実施している。	A	【考察】 近年、表現力や思考力の向上を目指して、ICTを効果的に活用した授業改善に取り組んでいる成果により、生徒・保護者・教職員ともに高い肯定率を保つことができている。一人ひとりの生徒にとって習得した知識や技能を活用できる授業の創造が必要である。 【改善方策】 今後も、ICTを活用した個に応じた学習指導、及び、相手の意見や考えを理解して、互いに考えを深め合うことのできる学び合い学習の充実を図る。また、読解力や思考力、表現力等を着実に育成していくため、「問答ゲーム」や「eスタ学習帳」などの取組の質を向上させるとともに、各教科等でもその学びを効果的に活用する。充実に向け整備を進めている学校図書館も大いに利用しながら、読書活動等、活字を通して学ぶ場面にも引き続き力を入れる。	生徒アンケート	◎	65	28	7	0	93	98	100
		保護者アンケート	◎	48	52	0	0	100	100					
		教職員アンケート	◎	67	33	0	0	100	100					
	②	○私は、話をしっかり聞いたり、ノートをとったりして、授業にまじめに取り組んでいる。 ◎お子さんは、真面目な学習態度で、授業に取り組んでいる。 □本校は、学習四原則の徹底を図り、基本的な学習習慣の育成に努めており、身に付いている。	A	【考察】 生徒・保護者ともに高い肯定率である。生徒は、「話をしっかり聞く」「きちんとノートをとる」等の基本的な学習習慣を意識しながら授業に臨んでいることが分かる。「聞くこと」「書くこと」の大切さに着眼をおいた学習指導や生活指導にも丁寧にに取り組んでいく必要がある。 【改善方策】 生活習慣や学習習慣の確立のために、教職員が目指す方向をしっかりと共通理解し続けるとともに、生徒への丁寧な指導を積み重ねていく。知識や技能を習得させること、及び、思考力・判断力・表現力等の育成における、「聞くこと」や「書くこと」の大切さに留意して学習場面を設定するとともに、魅力的な学習課題を設定し、生徒が「主体的」「対話的」にその解決に向かうことのできる問題解決的な学習の充実を進める。	生徒アンケート	◎	54	44	2	0	98	93	96	
	保護者アンケート	◎	37	57	7	0	93	94						
	教職員アンケート	◎	22	67	11	0	89	100						
	③	○日々の学習内容をある程度理解し、意欲をもって学習している。 ◎お子さんは、授業の内容がある程度理解できていて、意欲を持って学習している。 □自分は、生徒が意欲的に授業に取り組むように工夫し、「分かる・できた授業」、「考える授業」、「伸びる授業」になるよう、授業改善に取り組んでいる。	A	【考察】 生徒の肯定率は、昨年度の12月の調査時からが向上している一方で、保護者の肯定率は若干下がっている。学習内容の理解に課題を感じている生徒も一定数いるため、個別最適な学習の充実が求められる。 【改善方策】 一人ひとりの生徒が意欲をもって学習に臨み、「分かる・できたを実感」できるように、ICTも効果的に活用しながら、個に応じた学習活動の充実に努めていく。「個別最適な学習」が具現化できるよう、日々の授業における見取りとともに、定期テストや小テストの分析を丁寧に言い授業改善につなげていく。数学科におけるティームティーチングの取組もさらに充実を図る。	生徒アンケート	◎	54	39	7	0	93	93	89	
	保護者アンケート	◎	14	72	7	7	86	88						
	教職員アンケート	◎	33	67	0	0	100	100						
	④	○私は、宿題や自主学習ノートにしっかり取り組み、家庭学習の習慣が身に付いている。 ◎お子さんは、宿題や自主学習ノート等、家庭学習の習慣が身に付いている。 □本校では、家庭学習習慣の指導に全校体制で取り組み、その定着を図っている。	B	【考察】 昨年度の12月の調査と比較して、生徒の肯定率は向上している一方で、家庭学習への取組が不十分であることを自覚し、課題としている生徒も多い。また、保護者の肯定率は12月から減少している。全評価項目の中で全体肯定率が唯一Bとなっている項目である。生徒が自律的に学ぶことができるよう、指導の徹底が必要である。 【改善方策】 生徒が自律的に学びを進められるよう、家庭学習の課題の出し方等を工夫していく。また、自律的・計画的に学びを進めていくことの意義や自主学習の進め方について、各教科で丁寧に指導していく。家庭学習の習慣がしっかりと身に付くよう、積極的に家庭にも協力を求めている。	生徒アンケート	○	36	41	21	3	77	83	69	
	保護者アンケート	○	21	52	24	3	72	94						
	教職員アンケート	◎	22	78	0	0	100	100						
	⑤	○先生は、日々の授業や質問タイムにおいて、分かりやすく教えてくれている。 ◎双海中は、日々の授業や学習相談等で分かりやすく教えてくれる。 □本校は、学習相談等やICTの活用により、個に応じたきめ細かな指導が行われている。	A	【考察】 生徒一人ひとりの学習の様子に目が届きやすい利点を生かして、授業中に生徒の課題を教師が把握でき、高い肯定率となっている。一方で、教師にもっと質問するよう生徒に望む保護者の存在もあり、生徒の質問力・行動力の向上も求められる。 【改善方策】 教師は、授業における発問や説明、指示において、「分かりやすさ」に留意した言葉遣いや話の構成を行う。また、生徒が教師に質問・相談することへのハードルがさらに低くなるよう意図した生徒との人間関係作りや授業の雰囲気づくりをさらに進めていく。授業等において生徒が質問できる場の保証にも努める。	生徒アンケート	◎	52	45	2	0	98	99	94	
	保護者アンケート	◎	27	73	0	0	100	94						
	教職員アンケート	◎	56	44	0	0	100	100						
	⑥	○私は、地域の行事に積極的に参加している。 ◎双海中は、地域の自然や伝統行事等を重視しており、お子さんは地域行事に積極的に参加しようとしている。 □本校は、地域の人材や自然、伝統行事などの教育資源を活用し、生徒は地域行事に積極的に参加しようとしている。 ◇双海中は、地域の人材や自然、文化財、伝統行事等の教育資源を活用し、生徒は地域行事に積極的に参加しようとしている。	A	【考察】 地域行事が減少している地域もあり、参加しにくい生徒もいるが、多くの生徒が公民館が主催している各種の活動やほたる祭り、トライアスロン等のイベントに、様々な形で参加し、生き生きと活動することができている。地域の教育資源の活用については、保護者やコミスクメンバー等にも惜しみなく協力していただいているため、積極的に学びに生かすことができている。 【改善方策】 地域行事が、生徒にとっては学校とは違う個性を発揮する場となっており、存在感を得ることにつながっている。今後もPTAやコミスクメンバー、公民館との連携をさらに強化し、地域の力も大いに借りながら、地域資源の教材化に努め、「自分が好き 学校が好き 双海が好き」の気持ちが生徒に高まっていくような教育活動を工夫する。	生徒アンケート	◎	60	30	8	3	90	96	90	
	保護者アンケート	◎	40	57	3	0	97	100						
	教職員アンケート	◎	70	30	0	0	100	100						
	地域有識者アンケート	◎	76	20	4	0	96	89						

※1 「よりよい学校づくりのためのアンケート」 回答者数:生徒44名、保護者30名、地域有識者28名、教職員10名 ※2 全体肯定率は各アンケートの単純平均